京都大学医生物学研究所

「ウイルス学の潮流セミナー」2026

演者：足達 俊吾　博士

（国立研究開発法人国立がん研究センター研究所　（部門長）　）

最先端プロテオミクス技術が切り拓く生命科学研究の未来

日時：2026 年 11 月 27 日（金）　16：30　～　17：30

場所：　医生物学研究所 3 号館 3F セミナー室

（開催言語：日本語　　Language：Japanese）

近年、質量分析技術の飛躍的な進歩により、プロテオミクス研究は大きな転換期を迎えている。特に、次世代質量分析装置 Orbitrap Astral の登場は、従来を大きく上回る高感度・高速かつ網羅性の高い解析を可能にし、網羅的プロテオーム解析に革新をもたらしている。さらに、タンパク質の同定・定量にとどまらず、リン酸化などの翻訳後修飾やタンパク質複合体の解析、さらには細胞・組織内での局在を捉える空間プロテオミクスへと、その可能性が広がっている。本セミナーでは、国立がん研究センターの足達先生をお招きし、Astral が切り拓く次世代プロテオミクスの可能性と、がん研究における最新の成果をご紹介いただく。さらに、疾患メカニズムの解明や新規治療標的の探索、ウイルス学を含む幅広い生命科学研究への展開について議論する。

主催：JSPS 研究拠点形成事業 Core-to-Core Program
「ウイルスの二面性の理解・活用のための国際研究拠点形成」
共同利用・共同拠点「ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点」

世話人：京都大学医生物学研究所　ウイルス分子病態分野
加藤　哲久